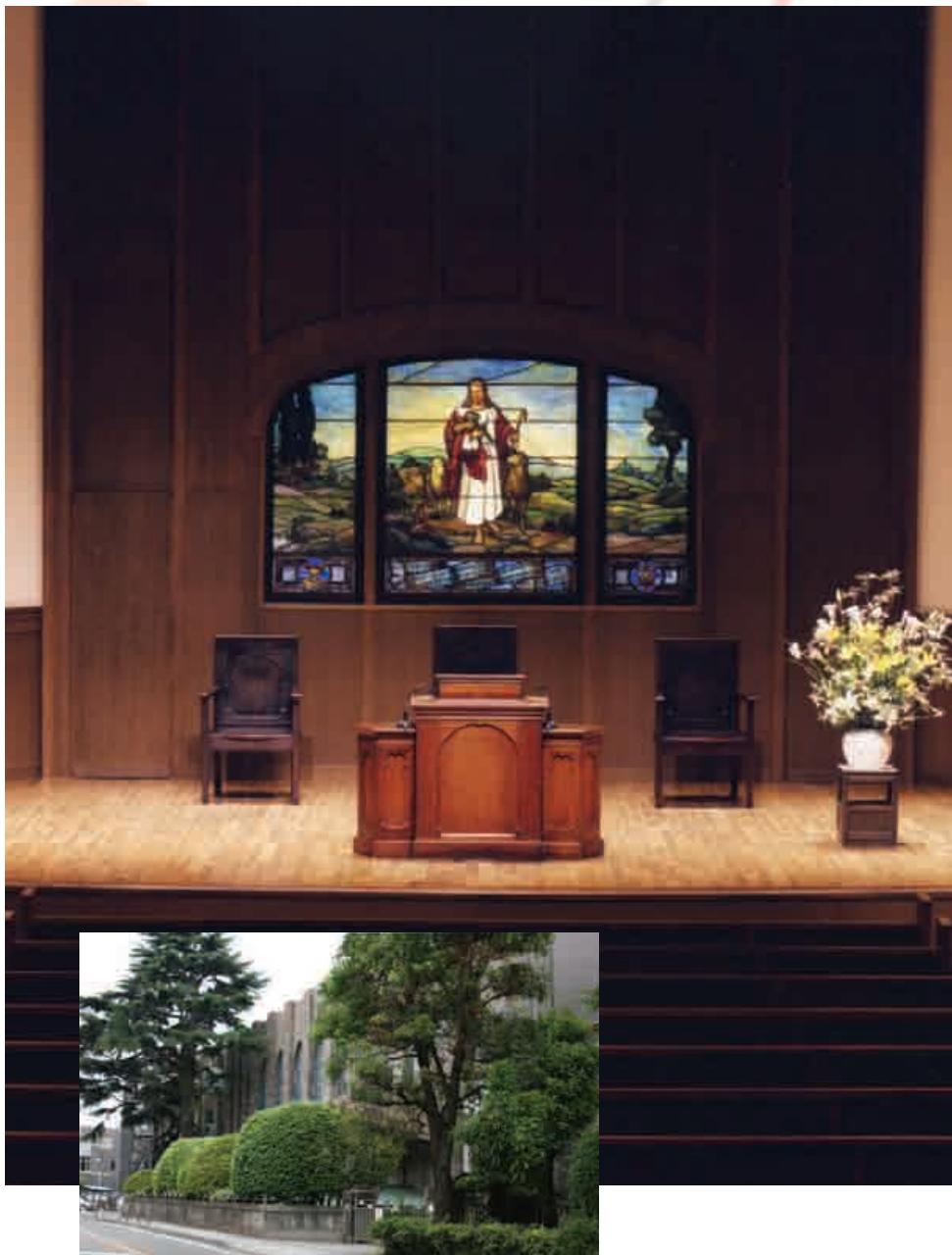




Ferris University

2009 No.7

フェリス女学院大学同窓会会報



《聖句》

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」

ローマの信徒への手紙 12-15

声の思い出

學院理事長
小塩
節



う。でも、文字を持つて以来の人類文化は飛躍的に進歩発達し、ついにはいまの電子言語にまで至っています。

これらは音声言語学を含む言語学や解説学、考古学その他の分野で詳細に研究が進んでいますが、音声は学問対象なのだけれども、ひとりひとりの「声」は、まだまだ学問対象にこじり切つてしまふ、というやう。

人の面影はいつまでもなつかしく心に残ります。何年たつても忘れられぬ人の姿、顔立ちがあります。おぼろに、或はあります。

人の声は、「一度聴こえてそのまま消えてしまうことが多い。でも私には、さりげない誰かの声や、遠い畠の向こうで子どもが歌っていた歌声が、何年たったあとになつても、はつきりよみがえってきて、心を揺することができます。そして、間近かに向い合つた人、かたわらにいてくれた人の声は、まさにその人の人柄そのままに、いや、人柄自体となつて私の心につよく残ることがあり、私は、人の声は人の人格、あるいは個性そのものではないか、とさえ思っています。

人間の言語は、もともとは音声言語として長い年月をかけて発達してきました。言語はその長い歴史の末についに文字言語となりました。その歴史は人類史の中ではかなり新しく、せいぜい数千年のものでしょ

声を保存する機器の発達によって、これらの言語研究はずいぶん進んでいくでしょうが、ひとりひとりの人格と結びついた声についての評価や分析はまだまだ先のことでありましょう。——こんな、わかり切ったことをあえて申しますのは「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」(Do) For Others. と言われた「二千年前」のイエスの肉声は、どんなお声だったのだろうか、と私はよく夢想するのです。そのお声を一度は聴きたかったな、なんて、またたく夢のようなことを思います。その代り、子どもの頃可愛がって下さった、のちのフエリス女学院長山永先生の朗々たるお声、少年時代によくモーツアルトを聴かせて下さった宮本武之助先生の静かなお声が、今もはっきり思い出されます。

ふくらした声 悪な声。あるいは洋の東西で違う声としては、日本人の声は一般に高めで、ドイツ人は低いなどということもまだこれらの研究課題でありましょう。

一八七〇年創立の学院は来年一四〇周年を迎えます。今年は横浜開港一五〇年に当たりますが、それはまたプロテスタント伝道の始まりでもあります。学院ゆかりの改革派のブラウン博士も横浜開港の一八五九年に来日しています。多くの宣教師たちが使命感に燃えて来日し、教育や医療を通して熱心に福音の伝道を始めました。宣教師夫人として女性たちも活躍しましたが、学院の創立者キダー女史のように独立した女性宣教師は当時そろ多くはないません。夢や幻を見るというのは、旧約聖書では日常的な世界では見えない真実を神から示される特別な経験とされていました。はるばる異国伝道を志したキダー女史は、はたしてどんな夢や幻を見ていたのでしょうか。学院は日本で最も古い女子校ですが、いつまでも創立者の見た幻を共有し続ける、そのような学校でありたいと願っています。そこで、来年の創立一四〇周年は、学院

キダー女史がここ横浜で子供たちを教え始めたとき、最初のクリスマスをどのような思いで迎えたでしょうか。学院では毎日礼拝を捧げていますが、キリスト教がマイノリティの日本でも、キリスト教と聞いて誰もがまず思い浮かべるのは、クリスマスではないかと思います。学院でも毎年中高・大学・教職員・同窓会、それぞれにクリスマスを祝っています。来年は、創立者の見た夢や幻に思いを馳せ、学院の理念を再確認しながら皆が思いを一つにできる機会として、学院関係者が一堂に会したクリスマス礼拝の計画を進めています。幸いに五千人が収容できる横浜パシフィコの大ホールが使用できることになりましたので、来年一二月一八日の午前、皆さんとご一緒に、静かで心のこもったフェリスらしいクリスマス礼拝を捧げたいと思います。それだけでは創立記念行事としては何か物足りない思いをされるかもしだれませんが、神様の祝福を受けながら、生徒・学生・教職員・卒業生・家族が揃って、聖書のメッセージに耳を傾け、一緒に讃美歌を歌うクリスマス礼拝は、フェリスは一つといふ思いを強くし、きっといつまでも思え残るものと信じています。

「心を一つに」

学院長 岡野 昌雄



歴史の風景に ——横浜開港一五〇周年 フェリス創立一三九年——

横浜開港一五〇周年
フェリス創立一三九年

学長宮坂覺

維持協力会がもつと身近に！



年一四〇周年の中仕切りを迎えます。

同窓会の皆様には、日ごろからお世話になり、衷心より感謝申し上げます。

衷心より感謝申し上げます

三月三日 横濱開港二十五周年記念式典が催されました。横浜港は、一八五

九年（安政六）年、長崎、函館とともに、

三四五年といふ間に開拓されたのが、當時の横浜村は、百戸にも満たない半農半

漁の集落でした。が、この一五〇年の間

に横濱は大きく發展を遂げ、今や人口三六七万人近い最大の政令都府に發展しま

した。開港以来横浜は、外国に目を注ぎ

先導として大きな役割を果たしてきました

た。フェリスは、その横浜のコアの一部

フエリスが誕生したのは、一八七〇

(明治三) 年ですから、横浜開港の11年後

教禁教の高札が辻々に立っていた時代です。以来フェリスは、日本の近代化を目指し参画し続けてきました。そして、来

異なるよき紡ぎを怠らぬ所存です。社会のいろいろな場で活躍し、経験豊かな皆さんに今後も母校のためにお知恵を拝借したいと思います。フェリス女学院大学の未来によき遺産が残せるよう、いろいろな形で力を貸して頂きたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

サハ信徳への手紙(3・1)の思いと無関係ではないでしよう。リベラルで凛とした姿勢に裏打ちされています。フェリスの歴史・伝統が紡いできたものに感謝と矜持を感じ、力を頃きながら、更なる困難な時代にリベラルに凛として生きてゆきたいと思います。

この間、キダー女史をかしらに何千人という先人たちが、何万という進取の精神に富んだ若い女性たちを世に送り出してきました。これがフェリスです。この歴史は誇るべきものです。For Others 「他者のために、他者と共に」に、常に新しい時代を踏み抜く、リベラルで進取のハイカラで凛としたものを感じます。今もその新鮮さは一向に色褪せていません。フェリスの魅力は、伝統に支えられながら進取の精神を有した自立的女性をイメージするところにあるともいわれています。おそらく、「日々新たにされ」（コロ

一九九五年の発足以来、維持協力会には在学生の保証人、同窓会、一般有志の方々にご加入いただき、現在二、七〇〇名を超える方々にお支えいただいております。

図書館、フェリスコンサートでのチケット割引など本学での特典のほか、元町商店街をはじめ協力店舗で優待をご利用になります。学院HP及び「維持協力会たより（第三号）」で詳しく紹介しております。



◆特典・優遇措置のご利用

ご入会くださつた方には会員証を発行します。この会員証のご提示によつて、大学

〔日時〕 12月1日(火) 14:00~15:30
 〔会場〕 大学緑園チャペル
 〔会費〕 500円
 〔申込先〕 総合業務課(11月20日まで)

小塩先生とクリスマスを歌う会

【お問い合わせ・お申し込み先】
フェリス女学院本部事務局 総合業務課
TEL : 045-662-4511 FAX : 045-651-4630
e-mail : hsoumu@ferris.ac.jp
学院HP <http://www.ferris.jp>

「学院をお支えくださる皆様へ」

りべるて・Fグループ・りてら 合同総会

2009年4月29日・カイパー記念講堂にて



第7回合同総会は、はじめて若葉の美しい山手のカイパー記念講堂に、二〇〇名を越える会員をお迎えして開催されました。

た。学院より小松田貞利事務局長、秋山信義大学事務部長にご出席いただきました。

大學宗教主任廣石望先生の司式により礼拝はとり行なわれました。『ヨハネによる福音書』10章11～16節を朗誦し、「一つの群衆」によって詠唱されました。

懐かしい校歌を歌い、記念撮影をして、
カイパー記念講堂を後に、それぞれの会場へ向かいました。

次に同窓会を代表し、Fグループ大谷会長よりご挨拶がありました。その中で五八九名の新会員をお迎えする喜びと、来年創立一四〇周年を迎える学院に同窓会として協力していく為に同窓生のご支援をお願いする旨、話されました。

ご来賓の小塩節理事長は、フランス在住の卒業生にまつわる楽しいお話をされました。

岡野昌雄学院長は、来年学
が一四〇周年を迎えるにあたり、
同窓会の力を借りしたいとの
お話をされました。

宮坂覺学長は、昨今の厳しい社会状況を踏まえて、大学の様子を話されました。

また、渡辺浪一文学部長、藏田雅之音楽学部長、江上幸子国際交流学部長にご出席いただきまし



第20回 りべるて総会

4月29日（木）家政科記念館において、りべるて総会が開催されました。議事に先立ち金子会長より、記念館の全面改修という嬉しいプレゼントを学院から頂いたとの報告と、お菓子講習会、お料理講習会で、現役学生との交流をはかり、お役に立てる事をとても大切に思つて、との挨拶がありました。

議事に入り、2008年度活動報告、決算報告、会計監査報告、2009年度活動計画（案）、予算（案）が審議承認され無事終了となりました。今年の総会は7年振りに山手を開催されたため参加者も多く、引き続き行われた懇親会には、富坂学長、秋山事務部長をお迎えし楽しい会となりました。そこで富坂先生は、山手には同窓生が多く集まる、これからも山手を大切にしていきたいと熱い思いを述べられました。また、りべるて同窓会が、その特性を生かし、学生と交流する機会を持っているのはとても良い事ですとおっしゃって頂きました。秋山事務部長からは、大学の入試、就職状況についてお話ををして頂きました。

今年度の主席者は、委任状を含め

一、六五四名でした。総会が同窓生の交流の場になる事を役員一同心より願っております。以上、感謝と共にご報告いたします。

（報告 岩江真理子・D51）



4月29日、本年は山手のカイバー記念講堂にて合
同総会を持ち、引き続き山手キャンパス12号館本部
会議室にて、藏田雅之音楽学部長をはじめ6名の先
生方をお迎えしてのFグループ総会となりました。

まず大谷会長より、同窓生相互の親睦・研鑽機会
の企画提供・大学支援を行い、さらに4つの地方支
部が今まで以上の活躍が出来るよう支援していきた
いとの挨拶がありました。藏田先生よりご出席の先
生方の紹介があり、ついで先生方からもひと言ずつ
ご挨拶をいただきました。藏田先生より、日頃の学
部への支援を感謝するお言葉をいただきました。

その後、08年度会計報告・会計監査報告・09年
度予算案・08年度の活動報告・09年度活動予定
が報告され、それぞれ承認されました。また、09
年度会長任期満了に伴い、選挙管理委員会委員長
より挨拶、報告がありました。統いて各支部長よ
り活動報告がなされ閉会となりました。

カイパー記念講堂での合同総会ということもあり、たくさんの
Fグループの会員の皆さんにご出席いただき、
和やかな総会となりました。本
年度も皆さまの
Fグループへの
ご参加を心から
お待ちいたして
おります。



4月29日（水）合同総会終了後、6号館
606教室において、りてら総会が開催さ
れました。合同総会会場から少し離れた教
室でしたが、多くの同窓生の出席を得まし
た。

始めに、田辺会長の挨拶があり、総会議
題に入りました。2008年度事業報告、20
09年度会計予算案、事業計画案について
決算報告、りてらショップ会計報告、20
09年度会計予算案、事業計画案について
原案通り承認されました。

その後、宮坂学長がご到着、今後のフェ
リス女学院大学発展に同窓会の協力を期待
するとのお話をいただきました。

そして、軽食を頂きながら和やかな雰囲
気の中、懇談会に移りました。

まず、りてらショップの商品が当たるお
楽しみ抽選会が行われました。役員が番号
を書いてあるクジを引き、7名の同窓生が
めでたく幸運を射止めました。樂

Fグループ総会

第25回 りてら総会



同窓会では、今年、
● 音楽学部 97名
● 大学院 26名
● 国際交流学部 2002名
の卒業生をお迎え
することができます。

一〇〇八年度卒業式



*ソプラノ独唱

青木由布子 ピアノ 門馬和子

*クラリネット独奏

川越あさみ ピアノ 門馬和子

*J.S.バッハ作曲

青木由布子 ピアノ 門馬和子

*ドーゼツティ作曲

川越あさみ ピアノ 門馬和子

音楽学部新卒業生演奏



りべるて

Vol.21
家政科同窓会

さいました。又、門から玄関の急な石段とトイレには、手摺りを付けて頂きました。感謝をもつて皆様にご報告させて頂きます。これから更に、同窓生の皆様、そして現役の学生さ

改修工事終了後のお披露目は、友
井先生のお料理教室でした。米寿を
迎えた先生の熱心なご指導のもと、
20名の参加者と美味しいお料理を頂
きました。

でした。昨年12月、大森いく子先生のご協力を得て、放課後から家政科記念館で20名の学生が集まり楽しい講習会となりました。初めに家政科とりべるての歴史、そして現在どの様な活動をしているか話しました。学習さんも興味を持つて聞いて下さり、生山手に来る事を喜んでいました。更に今年の5月には”ひとり暮らし応援プロジェクト”として、矢野知子先生に中華料理を教えて頂きました。こちらもとても好評でした。

これがやりへるでか
同窓生の為だけの活動ではなく、学生の皆さん
のお役に立てるモデルになつたと思
つております。

新たな活動の成果と言えるでしょ
うか。学院から家政科記念館の全面
改修工事をして頂きました。特に、
お料理教室の為に2台のシステムキ
ッチンを入れ替えて下さいました。
故障続きだったエアコンも取り替え
て下さいました。台所の水道も新し
い管にして飲み水の安全を考えて下



会長 金子 和恵

皆様と共に

りへるで会員の皆様お健やかにお過ごしでいらっしゃいますか。いつもおべるてをお支え下さいまして、ありがとうございます。

りべるては20周年を迎えて、新たな気持ちで役員一同活動をして参りました。

その一環として、現役の学生に“りべるて”を知つてもらいたいと考えました。家政科同窓会ですので、お料理教室を企画し、実現したのが、大学学生課主催によるお菓子教室で

行事予定

十一月二日(月)・三日(火・祝)

フェリス祭参加バザ

十一月二十六日(木)

大森先生お菓子教室

十二月十二日(土)

フェリス女学院同窓
アリスマス山野

卷之六

一月二〇日

大村先生

二月

月 矢吹先生北歐繪織物教室

同窓会は、会員の皆様のご理解とご協力あってはじめて活動をすることが出来ます。その為にも、総会をはじめ、各種講習会やバザーに是非お出掛け下さい。お待ちしております。

短期大学家政科の思い出出 矢野 知子



私は1976年、それまで中国料理を教えておられた李先生の後を受けて家政科非常勤講師として勤務することになりました。振り返ると戦後のまだ物資の不足していた時代に発足した、短期大学家政科に私が入学した頃は調理器具も何もかも不足していて、先生が指定された本もほとんど入手困難で、放課後みんなで書き写して講義を受けるという風景でした。(もちろんコピィなどという気の利いたものはありません)しかし教えていたいた先生方は非常に優秀な先生で、しかも大変熱心に教えてくださり、充実した2年間を過ごすことが出来ました。

母校で後輩を教えることになった時に、私が教えて頂いた何分の1かでも後輩に伝えられたら……と設備の整った調理室に立つて思いました。ところが実習を始めて驚いたことに、マッチがすれない、包丁をどうもつていいかわからないなどと問題山積でした。和・洋・中の料理を担当した先生方が同じ問題で悩み、いろいろ話しあいをした結果、1年の前期に基礎調理をやって、それを受講した学生が自由選択で次に進む

うになりました。

殆どの学生が家庭では調理には無縁のようだ授業中の珍事は沢山ありますが、少し紹介してみますので当時を思い出してみて下さい。

①揚げ物の時に遠くから投げ込む学生が多い(油がねると怖いから)、油のすぐそばで静かに入れねばならないと言つたら、あまり近付き過ぎて長い自分の爪まで油に入つて大騒ぎ。

②私自身、本来は左利き、包丁やお箸は右で使うが餃子などの包み物は左のほうがやりやすい、学生とは対面なので左にすれば分かりいいのではと思つてやつたら、クラスの何人かはやりにくそうに左で包んでいて私の方がごめんなさいと言う事もありました。

短大の2年間は皆さんにとって蛹が蝶に変身する期間の様でした。1年の前期に講座のある先生方はあのくたびれた学生がこんなにきれいになるとはと、謝恩会のとき声をかけられても三角巾にエプロンの姿とは結びつかず一瞬誰かしらと思ひますが、卒業後間もない頃は話しているとあのクラスのあのテーブルにいたと思い出しました。

15年間家政科に勤務しましたが、退任後の年数がそれを上回っています。私が教えていた歳に卒業生の方々がなつておられるのでしょうか。その方たちにお会いした時に、「先生に教えていただいた玉ねぎのみじん切り、ちゃんとやっていますよ。」とか、「あの時のレシピ今でも使っていますよ。」などと言つて下さるとフェリス女学院の歩みの中ほんの一部分ではあるけれど、短期大学家政科があり、その中で何かが残せた事をうれしく思っています。

大学生課主催 料理教室



現役大学生を対象にしたお料理教室は、5月14日午後6時から家政科記念館を会場に開催されました。講師は矢野知子

先生です。

授業を終えて山手に集まつた学生達は、初めてで心配との面持ちでした。

先生から、家政科の歴史と幕を閉じる経緯が話されると、皆さん一生懸命聞いて下さいました。

試食タイムは、“美味しい”と思ったよ

り簡単だった”との声がありました。

今後は、学生からの要望もあり、先生

と調整をして続けて行きたいと思います。

そして、中華料理3品のデモンストレーションのあと実習に入りました。りべてでからも4名が助手として参加しました。

野菜や肉を切つたり、調味料を混ぜたりと進みますが、途中であちらこちらから“先生”との声が上がり、先生と助手は大忙しでした。出来上がると歓声が沸き、にぎやかな講習会でした。

- 紅焼鶏肉（鶏の甘辛煮）
- ホタテとブロッコリーの炒め物
- コーンのふわふわ卵スープ

【献立】

紅焼鶏肉／鶏の甘辛煮（1皿分）

材料（分量）

とり腿…4枚（5~600g） 長 葱……………1本
生 姜…1かけ 青梗菜（1束3~4本）…2束

調味料（分量）

醤 油…カップ1/2 酒…カップ1/2
砂 糖…カップ1/2 水…カップ1/3
ごま油…おおさじ1

調理法

- ①厚鍋に調味料と長葱の青い部分とつぶした生姜を合わせ入れ、煮立たせて鶏を皮を外にして丸めて入れ中火よりやや弱めにして20分くらい煮込む。汁が多くないの途中で返しながら全体に味がしみるようになる。
- ②汁が詰まって皮に照りが出たら火を止める。
- ③中華鍋を熱し油大さじ1を入れて4~6等分に裂いた青梗菜を炒め、少量の塩・胡椒を加えて湯2カップを注ぐ、煮立ったら湯をあけて水気をよく切る。
- ④②が冷めたら1cm厚さに切り、皿に③を放射状に敷いて中心に鶏を盛り付ける。

ホタテとブロッコリーの炒め物（4人分）

材料（分量）

ホタテの貝柱…200g ブロッコリー…1/2本
長葱(1cmのぶつ切り)…1-1/2本 生姜(1cm角薄切り)…小1かけ

調味料（分量）

A（下味つけ） 塩、胡椒…小さじ1/2 酒…小1さじ
片栗粉、油…各大さじ1

B（合わせ調味料）

塩…小さじ1/2 酒…大さじ1
酢、砂糖…各小さじ1 水溶き片栗粉…小さじ2
スープ…大さじ2

調理法

- ①鍋に湯を沸かして、一口大に切ったブロッコリーを入れさっとほぐすようにかき混ぜ、沸騰したら1分ほど茹でてすぐざるにあける。
- ②中華鍋を熱し、大さじ1の油を入れ長葱、生姜を香りが出来るまで炒める。Aを混ぜた貝柱を入れさっと炒めて、ブロッコリーと合わせBを加え、とろみが出たら皿に盛る。

思い出の緑の丘 横浜山手散策

りべるて同窓会の皆さんと、山手を散策いたしました。外国人居留地の面影を残す西洋館も数多くあります。横浜の歴史を感じるこの山手地区は、フェリスのある場所として自分の学生時代を懐かしむ特別な場所でもあります。

連休明けの静かな雨の日でした。石川町南口を出て、郵便局の前を上るとイタリア山庭園の入口です。明治期イタリア領事館がおかれたこの場所には今、ブラフ18番館と外交官の家があります。ふたつの西洋館をめぐる中で、階段の木の手すりや廊下の冷ややかな空気からかつてのカイパー記念講堂に思いをはせ、洋館の古いバルコニーではらせん階段を下りて向かった昔のフェリス寮のお風呂が話題となり、お話を花が咲きました。手入れの行き届いたお庭を眺めていると時の経つのも忘れてしまします。

山手本通りを、

学生時代の時のように歩きました。

家政科として授業に使われてい

た2号館や学院の新しいカイパ

ー記念講堂を外



- お問合せ先 見学は各館無料です
- ブラフ 18番館
- 外交官の家
- ベーリックホール
- エリスマン邸
- 山手2・3・4番館

TEL FAX 〇四五 (六六二) 六三一八
TEL FAX 〇四五 (六六二) 八八一九
TEL FAX 〇四五 (五六三) 五六八五
TEL FAX 〇四五 (二二二) 一一〇一
〇四五 (六二五) 九三九三

から眺め、私たちの集いの場である家政科記念館とかつての学び舎6号館校舎を過ぎると、ベーリックホール、エリスマン邸、山手2・3・4番館の横浜市認定歴史的建造物を見学することができます。公開はされていませんが、1929年築、アントニン・レーモンド氏設計の山手10号館も横浜市歴史的建造物に認定され、先ごろ外装工事を終えたとうかがいました。

古い洋館は、改築や改修を重ね私たちに山手の風景を提示しています。フェリス女学院大学も、大部分緑園都市に移転ましたが、その歴史はこの山手に始まっています。私たちの学んだ山手のフェリスを想い、皆さまもぜひ今一度、思い出の緑の丘へ足を運ばれてはいかがでしょうか？

家政科記念館では、11月2日（火・祝）に、毎年恒例のバザーをいたします。フェリスグッズ、手作り品、寄贈品などを販売いたします。また、両日ともティールームを開き、美味しいケーキとお茶でみなさんのお越しをお待ちしています。

献品のお願い

フェリス祭バザーのためにご家庭で利用されない未使用の日用雑貨品や贈答品等がございましたら、献品くださますようお願い申し上げます。尚、食料品、衣類は除外させていただきます。

バザー販売による収益は、全額維持協力会に寄付させていただいております。

● 受付期間 11月1日まで

毎週木曜日、午前十一時～午後三時

● 受付場所 家政科記念館

〒二三一―八七九〇 横浜市中区山手六八
家政科同窓会りべるて宛
郵送・宅配便でお送りいただいても結構です。



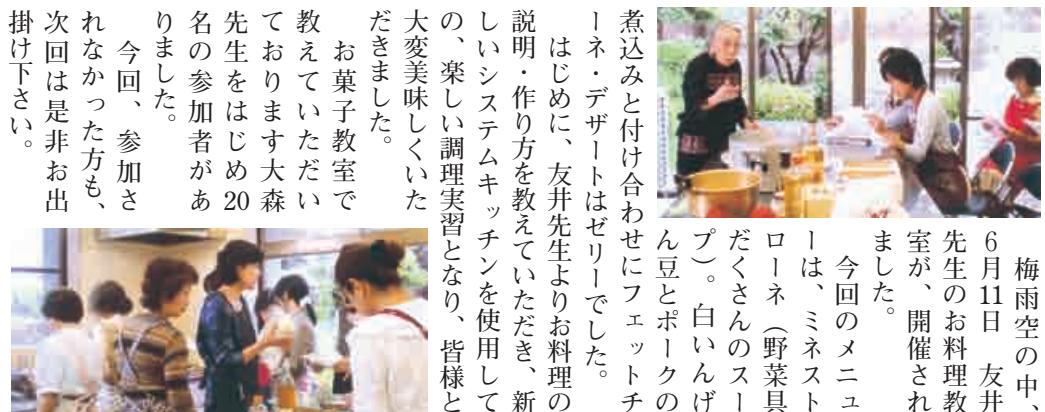
フェリスグッズ

- シルバー加工カードケース 2,800円
- 本革ペンケース
(赤・茶・青) 各1,500円
- 本革ブックカバー 文庫用
(エンジ) 各2,500円
- エプロン
(黒・赤・茶・紺・ピンク)
各2,000円
- ハンドタオル
(ピンク・クリーム・水色・黄緑・白) 各450円
- スプーン・フォークセット 500円

《講習会・グッズ申し込み先》

家政科同窓会りべるて Tel・Fax (045) 662-0750

友井ゆり子先生のお料理教室



梅雨空の中、
6月11日 友井

先生のお料理教
室が、開催され
ました。

今回のメニュー

ローネ（野菜具
だくさんのスー
プ）。

白いんげ
ん豆とポークの
煮込みと付け合わせにフェットチ
ーネ・デザートはゼリーでした。

はじめに、友井先生よりお料理の
説明・作り方を教えていただき、新
しいシステムキッチンを使用して
の、楽しい調理実習となり、皆様と
大変美味しくいた
だきました。

教えていただい
ております大森
先生をはじめ20
名の参加者があ
りました。
今回、参加さ
れなかった方も、
次回は是非お出
掛け下さい。

小倉志保子先生のビーズ教室



7月9日に、ビーズ教室が開催
されました。

今回、小倉先生はコスチューム
ジュエリーの様なネックレスを教
えています。スマーキーピ
ンクのヴィントージビーズを使い、
サイドには大きめのビーズでアク
セントを作り、金古美色のチャーチ
ンが全体をアンティク調にまとめ
ています。

ビーズアクセサリーを作るのは
初めて、と参加された方も、先生
の丁寧なご指導で、二時間余りで
素敵なネックレスに仕上げ、首先
を飾って帰れることを、とても喜
んでいらっしゃいました。
いつも先生の教えて下さる作品
は、個性的であります。おしゃ
れで、次回の作品が楽しみな講習
会です。

■2008年度決算報告書 2008年4月1日~2009年3月31日

科 目	金 額 (円)
受取 利 息	8,560
事業費(グッズ販売、バザー)	6,295,532
名簿代金	4,000
寄付金	265,000
小計	9,070,992
前年度繰越金	12,518,956
合 計	13,426,048
支 付 金	14,1080
交際費	56,000
事業費(グッズ)	22,580
出 20周年記念行事	9,857
小計	1,205,187
次年度繰越金	12,220,861
合 計	13,426,048
繰 越 金 明 紹	
定期貯金(株)ゆうちょ銀行	2,635,109
定期貯金(同上)	3,012,000
通常貯金(同上)	1,576,611
通常貯金(同上)	627,445
普通預金(横浜銀行)	4,369,696
現 金	0
合 計	12,220,861

■2009度予算 2009年4月29日

科 目	金 額 (円)
消 耗 品 費	120,000
旅費・交通費	400,000
通信・運搬費	1,020,000
印刷・製本費	605,000
報酬・手数料	2,000
会議・会合費	50,000
諸 会 費	70,000
涉 外 費	180,000
雜 費	10,000
修 繕 費	0
事 業 費	0
寄 付 金	0
合 計	2,457,000

会長 金子和恵

会計 柴田千鶴

石井克子

監査の結果、相違ないことを確認致しました。
監査

2009年4月16日

郷 佐美

清見治美

お願 い

通年、住所変更を行つております。
住居表示変更のために、郵便物が届かない方が、
増えています。
変更がありましたら、りべるて宛、お知らせください。





Fグループだより

No. 38
〒231-0862
横浜市中区山手町68
フェリス女学院大学
音楽学部同窓会
(Fグループ)

Fグループの皆さまへ

Fグループ会長 大谷 園子（11回）



同窓生の皆さま、
お元気でいらっしゃ
いますか。

生107名を新会員に迎え、会員総数は約3,500名となりました。少子高齢化の進むなか、伝統を守りつつ進化をはかる母校フェリスが4年前に行つた音楽学部の改編（演奏学科・音楽芸術学科の2学科制）のもとでの最初の卒業生です。

今春、Fグループは大学・大学院の卒業の無料出演協力を得て、カイパー記念講堂で「募金コンサート」（維持協力会主催）の開催を推進したことです。今後も良き後輩が卓立つてくれるよう、同窓会もフェリス女学院財政に少しでも寄与したいと考えたFグループは、他の同窓会や奨学会にも

思い出されるのは、モーツアルト生誕250周年にある2006年、大学教授方の無料出演協力を得て、カイパー記念講堂で「募金コンサート」（維持協力会主催）の開催を推進したことです。今後も良き後輩が卓立つてくれるよう、同窓会もフェリス女学院財政に少しでも寄与したいと考えたFグループは、他の同窓会や奨学会にも

任期満了となります。皆さまのご理解・ご協力をいただき、心から感謝いたしております。

このときにも痛感しましたが、Fグループの同窓生は全国各地に広がつており、母校への関心と同窓会への理解は途絶えておりません。また、Fグループ本部と支部、Fグループと他の同窓会、同窓会と大学ならびに学院全体といつた諸組織間の連携・協力の態勢がより整つてまいりました。この点も、もうひとつ私の喜びであり感謝です。ありがとうございます。

皆様とともに

音楽学部長 藏田 雅之



昨年1月に九州支

部、今年1月に北支

部の大きなお力添え

をいただいて、音楽

学部特別演奏会をそ

れぞれ開催することができました。九州では演奏会後、総会にも参加し、同窓生の方々と一緒に讃美歌を歌わせていただきました。会場の設定から集客まで、たくさんの方々のお世話になりました。また、

会場にお越しいただいた皆々様、本当にありがとうございました。

北海道旭川は、演奏会当日マイナス14度という寒さでしたが、多くのお客様に迎えられ、学生らにとり生涯の思い出となるツアーノなつたことでしう。

旭川のクリスタルホールには中田喜直先生の記念碑があり、また空港には終日「雪の降る街」が流れています。私たちフェリスはなんと大きな財産をいただいているのかと、改めて感じた学生も多數いたことと思います。音楽を通して、フェリスの素晴らしさを今年もお伝えできたらと強く感じています。

地方の支部の皆様には今後さらに密接な情報交換や、演奏会等でお世話になることと思いますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。皆様とともに一步一歩の歩みを進んでまいれたらと思います。

山手キャンパスでは、大オルガンを演奏

しての音楽礼拝を毎週木曜日、12時半からフェリスホールで行つています。横浜にお越しの折には、是非ご参加ください。教員も参加いたしております。



木曜の音楽礼拝にて

2008年度

音楽の贈り物

ジョイントコンサート

08年9月15日 フェリスホール



08年のジョイントコンサートはお天気にも恵まれ、フェリスホールにはお陰さまでたくさんのお客様にご来場いただきました。

新入会員の方のヴィオラの堂々とした演奏で幕を開け、ソプラノ、ピアノのフレッシュな演奏に続き、ヴィオラ・ダ・ガンバのアンサンブルと多彩なプログラムで綴るフェリスならではのユニークな演奏会になりました。

卒業後も音楽活動の中での様々な出逢いを温めながら、丁寧に勉強を続けておられる同窓生の演奏を、卒業生だけではなくより広い方々に聴いていただけたことは大変貴重なことと感じました。今年も9月23日、フェリスホールにて開催の予定です。懐かしの山手の丘へどうぞお出かけくださいませ！

(担当 海野美栄・44回)



研修会

08年10月14日 緑園チャペル

◆ジョイント・コンサート出演者募集

毎年9月開催予定のジョイントコンサートはFグループ会員、音楽学部関係者であれば出演可能です。詳細は事務局までお問い合わせください。(書類選考あり)

【08年度出演者】 *福田真智子(ヴィオラ独奏・57回)・齊藤舞(ヴィオラ伴奏・56回) *都留理恵子(ソプラノ独唱・51回、院5回)・永野聖子(ピアノ伴奏・52回) *柴川敦子(ピアノ独奏・53回) *三浦晴美(ピアノ独奏・53回、院7回) *前田佳代(ソプラノ独唱・55回、院9回)・中川由紀子(ピアノ伴奏・55回、院9回) *神戸倫樹美(20回)・小泉美千代(44回)・小澤絵里子(33回)・武田桃子(56回)(ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏)

アを交えて楽しくお話し頂き、後半はオーケストラの冒頭部分の楽譜を用いて、どのように音楽を作り出していらっしゃるのかを、ピアノを弾きながら詳しく述べて説明頂きました。音楽に対する真摯な姿勢を拝見し、大変多くのご好評を頂きました。貴重な会となりましたことに心より感謝申し上げます。

(担当 井上千佳子・44回)

ティータイムコンサート

08年11月13日 山手6号館632教室

08年のティータイムコンサートは「アイルランドの風に乗つて」と題し、講師に安井マリさん(34回)をお迎えしました。安井さんは現在アイルランドの民族楽器“ティンホイッスル”や“アイリッシュフルート”的演奏家としてご活躍されています。

当日は、賛助出演の柳澤聰美さんと廣瀬

沙耶佳さんと共に、軽快なダンス曲からしっかりとアーティストとしての説明を交えながら演奏して下さいました。



ティータイムの時間も、日本ではなかなか触れれる機会がない樂器について丁寧に説明して下さり、たくさんの方に楽しんでいただきました。

(担当 清水千晴・52回)

新役員紹介

副会長 熊本美也子(17回)
書記 吉田牧子(55回)
常任 星野育子(24回)

Fグループ2009年度コンサートのご案内

ジョイント・コンサート

9月23日(水・祝)14:00開演

於：フェリスホール ¥1,000

【出演者】

ピアノ：新理惠(50回・院4回)・池浦もと子(51回・院5回)

声楽：町田信子(18回)・柿本有衣(56回・院10回)

丹野愛弓(58回・大学院在学中)

クラリネット：川越あさみ(58回)

ティータイム・コンサート

10月8日(木)14:00開演

於：フェリス女学院大学山手632教室 ¥1,000

内容：楽興の時を求めて

～ピアノ・ソプラノ・三味線による演奏とお話～

講師：藤村公子・下河邊宣子・杵屋花邦(11回)

研修会

～歌手とピアニストのための公開レッスン～

11月24日(火)18:30開演

於：フェリスホール ¥1,000

講師：ダルトン・ボールドウィン(ピアニスト)

《お問い合わせ・お申し込み》

Fグループ事務局(木曜日 10時～17時)

Tel & Fax : 045-681-6740

「フェリスの力」

学生部長 高田 明典



ることによって発生する「力」であると考えています。

もちろん「フェリスの力」は小さくありません。私のゼミの卒業生だけでも、ソニー・コンピューター・エンターテインメント、H・I・S、ベネッセコーポレーションなどのいわゆる「東

学生部は、本学の学生がかかる様々な問題に対処し、解決を図ることをその仕事の中心とする部署であり、主として学生課と学生委員会によって構成されています。大学の「力」とは、各学部・学科もしくは個々の教員の持つ教育力にその源がありますが、様々な理由でそれを享受しにくい状況が発生することがあります。大学に比すれば比較的対処の困難度が軽微なものが少なくないこともあります、「フェリス」という場所の持つ力を実感したりもしています。

「場の力」とは、もちろん、同窓会や奨学会などによる御支援を含むものですが、加えて「名の力」というものの存在を感じています。それは「フェリス」という名を大切に思い、決して毀損することのないように、また、その名に付隨する価値を高めるべく、日々努力

早慶など老舗系最難関大学の学生でも難しい」と言われる企業に入社しており、内定のみであれば、難関とされる企業名をさらに多数挙げることができます。また私の院生は、1名がアート論専攻でドイツのデュッセルドルフ大学に留学中、1名がラグジュアリー・ブランドの研究でタイに留学中であり、双方ともおそらく専門分野の研究者にならしく思われます。修士一年の院生の論文は、この十二月に刊行される予定です。もちろんそれは、私が担当する学生・院生だけの話ではなく、他ゼミではより素晴らしい実績を残しています。

「フェリスの力」は伝統の力でもあります。それは「フェリス」という名の持つ力であり、私たち教職員は、この「大きな力」をさらに正しく大きな力としていくべく努力しています。卒業生・同窓生の皆さんのが、そのことを大切に思い、決して毀損することのないように、また、その名に付隨する価値を高めるべく、日々努力

りてらの皆様へ

会長 田辺 真弓 (72E)



はないでしょうか。また、大学の研究室として使用されていたことのある山手十号館が、横浜の歴史的建造物として認可されました。

さて学年幹事についてですが、クラス会を開催なさりたいなどのご要望は、学年幹事または同窓会室で承ります。そのためご住所変更は忘れずご連絡下さい。幹事から、お知らせが届くことになっています。このように幹事は、会員と同窓会組織とを繋ぐ大事なハイブリッドです。卒業時に各学年・学科から、おふたりが選出されます。幹事会に出席して、学院の近況を伺ったり、会員の意見を同窓会に伝え、学院をお支えする重要な役目です。りてら会員は文学部・国際交流学部卒業生・大学院修了生に至り、年々増加しております。勿論この会報は、海外までお届けします。りてらの行事にご出席なさり、旧友との再会を楽しんでごらんになつてはいかがでしょうか。理事長始め、学院長、学長のご出席のもと行われる総会では、同窓会の活動報告や、決算報告が行われます。

総会、山手の丘でのクリスマス礼拝、そして緑園キャンパスの大学祭が皆様をお待ちしております。

国境を越えエンダーバーによる壁を破り、世界で活躍する女性が、フェリス女学院大学からも育っています。脈々と成長するフェリス女学院大学を実感なさつてください。

卒業生だより

”七色の虹“

帰国子女(小学生)英語スピーチコンテストより

韓事 銘木 英子(52日)

数年前、私達のボランティアのクラスからこのコンテストに参加して優勝した小三女子の印象的だったスピーチの一節を紹介します。

一 虹は七つの色があるから美しい。世界の国々もそれぞれの色を輝やかせて、仲良くすれば世界は一層美くなる。」全く同感で、日本は日本の伝統文化を大切にして国際交流を深め、世界に輝きたいのです。人も十人十色生まれもつた色を認め合い、上手に調和出来れば、世の中も楽しく美しくなるでしょう。

◆アメリカで出会った日本の心

大黒直子(84E)

碧くて深い目、亞麻色の髪を持つづくターレの口から語られる言葉といえば「以心伝心」「易行往生」「因果律」「因義」。

イエローハウスアメリアが人のトマトアーチ
ドクターとの出会いは、アメリカミシ
シガン州にあるカイロプラクティック
のクリニック。そこでは、人間の、本
來持つてゐる自然治癒力を目覺めさせ
るべく、脳からの信号を体中に行き渡
らせるために、首や背骨のアジャスト

ブルキナファソを訪れて

松本 郁美（03J）

悪化による事業縮小を機に退職。また新たな道を模索する中、今度は台湾で出会つ

卒業後、異文化コミュニケーション学に興味を持ち、エリス女学院大学大学院に進学。修了後、自分が学んだ事を実際に体験してみたいと思い飛び出したのが台湾でした。台湾ではフェリス女学院とも交流のある輔仁大学で約3年間、世界各國からの留学生とともに中国語を学び、帰国後は台湾での経験を活かして中華系エンタメ情報サイトで台湾のテレビドラマの字幕翻訳や芸能ニュース翻訳、台湾の文化や観光情報を紹介する仕事をしていましたが、昨年の景



た友人たちがいるブルキナファソを訪れる機会に恵まれました。ブルキナファソは西アフリカの内陸にある小さな国で、現地では日本のJ.I.C.Aや青年海外協力隊の方々も活躍されています。国の電気と水が不足しているため、停電や断水は日常茶飯事。キャンドルを灯しての生活や街灯がない真っ暗つ暗い道路を車が行きかう光景には驚きましたが、一方で豪華なホテルや新築の家が建ち並び開発が進んでいる地域での快適な暮らしに、これから的发展が楽しみなアフリカを直に見ることができました。また、男性も女性も40度を超える暑さや

界が悪くなるほど砂ぼこりも気にすることなくオシャレを楽しみ、鮮やかなデザインの生地で作った衣装に身を包んで歩く姿は、ファッショニエーを見ていました。

が行われている。でもそれだけではない。ドクターは、40年以上もの間、日本の武道の修行を積み、心と体のつながりをとても大切にし、患者ひとりひとりが自分から健康になろうとする手助けを惜しみなくしてくれる。その精神の源にあるのが、日本の風土（Ethos）なのだ。

日本にいたら気づかなかつたかもしれない日本によさ。日本人の気質、言霊、そして武道。日本人より日本のことに心酔するドクターだからこそ、気づかせてくれたのだ。そして、この年で、初めて武道をはじめた。自分をみつめ、鍛え、相手を倒すことを目的としない、本当の強さを求めた稽古が展開されるドクター主宰の「系東館」（しきとうかん）。稽古中は、頭が真っ白になら、汗だくになり、稽古後は、爽快感

ついでに、日本のどこに、47歳の初心者女性を喜んで受け入れる道場があるだろうか。

そうして、どんどん、自分の中の日本人としての魂に気づいていく。それを誇りに思えてくる。強くなつて、他人にやさしくなりたいと思えてくる。やつと Ferris の精神、For Others が実現できるのかもしれない。



りてらアーカイブ

四回目となります今回は、初めて女性の先生の登場です。
今なお変わらぬ情熱を持つて教壇に立ち続けていらっしゃる、
鈴木美南子先生です。



●鈴木美南子先生 略歴

- 【1942年】福岡生まれ。福岡女子学院卒業。
- 【1960年】国際基督教大学入学。
- 【1964年】同大学卒業・同大学大学院入学。
- 【1970年】同大学院修了。
- 【1972年】フェリス女学院大学文学部専任講師。
- 【1974年】同大学文学部助教授。
- 【1984年】同大学文学部教授。
- 【1997年】同大学国際交流学部教授。

現在に至る。

皆さん、お元気ですか。私もとうとう「アーカイブ」に登場することになります。それもそのはず、私が大学文学部の専任講師に着任したのは一九七一年、ちょうど三〇歳のときで、今年は既に三十七年目、来年三月でいよいよ終わりとなります。着任の前にも、国際基督教大学で博士課程まで終えたあと二年間非常勤講師を務めていました。そのとき、既に二人の子持ちではあります。そのため、まだ学生気分で全く教師の賃禄がなく、よく図書館などで学生と間違われました。

私は「一般教育」の所属でしたから、文部省の教員であっても、専門科目やゼミを持つことはありませんでしたので、私と接觸があつた方は「一般教育」や「教職」科目を取られた方ということになります。私の主たる担当科目は、「一般教育課程の「社会思想史」と教職課程の「教育思想史」です。これらは今日まで私にとっての主要科目です。(大学では、自分の狭い専門分野だけを教えることは許されず、このほか女性学・歴史学・社会学・教育学関連の色々な科目を、勉強しながら担当してきました)私が日本近代思想史を中心にしながらも、ピューリタン革命やジョン・ロックの思想を併行して研究テーマにしてきたのは、自分の関心とともに、どこかで国文・英文の学生の関心と切り結びたい思いがあつたらだと思います。

山手時代、専門学科の先生以外では、私が着任した時期からしばらく、学長は宮武之助先生でした。先生が東京女子大学の学長を終えて本学にこられてすぐ、フェリスでも大学紛争があつたことを、懐かしく思い出します。学内では危険だというので、外に会場を借りて教授会を行なつたこともありました。宮本先生の誠実で適切な対応で大事に至らず收拾されました。またこの時期、「一般教育」と「教職」の責任者は小黒聰先生と井上恵美子先生で、小黒先生は既に他界されましたが、井上先生はお

で、私もそれなりに緊張しました。「教員になつたら朝八時半出勤」というわけで、私も頑張つて一時限(八時半開始)に授業を設定していました。車で通勤していたのですが、早すぎると時々、体育館側(山手の)の裏門の鍵がかかるついて、やむなく、外の公園前に止めたまま夕方まで忘れて、駐車違反になつたことも何度かありました。フェリスを出て英語や国語の教員になられた方々が、同じ教員として共感を持ってくださるのか、一二、三十年たつ今も年賀状などで連絡をくださいます。それぞれの場で新しい問題に直面しながら、自分の向上を怠らず、工夫しつつ努力を重ねておられる様子には、本当に頭が下がります。

元気で、昨年の大学クリスマス礼拝にお出でくださいました。

私は宮本先生のおすすめで、「学生YMCA」のグループをつくつてメンバーと一緒に活動し、大学宗教行事のサマーキャンプ(天城山莊)にも、よく参加しましたので、そこでお付き合いした方々も印象的です。私がそのころ未熟だったのか、当時の学生さんはとてももっかりして、真剣に考え行動していたように思います。もつともそれは全体の三分の一で、私は長く大学教育に携わってきて、すべての人が早かれ遅かれ必ず自覚して芽の出る日があることを信じています。ですから今は聞く耳がないようでも、言うべきことは言つておこうと心がけているのです。

行 事 予 定

【大学祭】

十月三十一日(土)・十一月一日(日)
緑園キャンパス

【全同窓会クリスマス礼拝】

十二月十一日(土)
カイパー記念講堂

同 窓 会 室 御 案 內

開室 每週火曜日 10時～16時
住所 〒245-8650 横浜市泉区緑園四丁目三

電話 ○四五八二二八六九二

メールアドレス litela@uranus.dti.ne.jp

【会報編集】

●酒井篤子(62E) ●貴田里砂(86E)
●板谷宏江(86E) ●進藤智美(87E)

同窓会支部だより

東京支部

昨年秋以降の行事を振り返りながら、ご報告させて頂き度いと思います。

10月に東京支部総会を浜松町にあるビル三九階眺望の良い東京会館で開催致しました。礼拝で始まり、讃美歌、お祈りなど心に染まるひとときでした。午後の講演は本大学の大西比呂志教授をお招きし、「横浜学—開港一五〇年とその知られざる国際交流」と題し、フェリスとの関りを中心にお話いただきました。

11月には東京で唯一走っている都電、荒川線に乗って小さな旅を楽しみました。

今年は例年通り、初春歌舞伎観劇で幕を開けました。春はビデオによるオペラ「トロヴァトーレ」、次に深大寺と神代植物園へ出掛けこのたよりがある頃、宮坂覺学長の読書会、芥川龍之介のお話が好評のうちに終つてることと思います。

今年度秋の総会は中高出身で幾何学専攻、山口大学の中川洋子教授をお迎えします。「結び目理論」を解り易く説いて下さるそうで、少し数学に付けるかと期待しています。先日頂いた大学案内にフェリスの教育目標は「教養豊かな自立した女性を育てる」とありました。これは私共にとって一生の課題だと思いますので、これからも活動を通して一緒に歩んで行き度いと願っております。

《連絡先》

大川清子 03-3321-2687
高間美鈴 03-3775-6279

関西支部

2008年度フェリス女学院同窓会関

西支部は11月12日(水)、京都国際交流会館ルヴエソンヴエールで開催されました。

4年ぶりに岡野昌雄学院長をお迎えし、オールフェリス総勢44人の参加でした。

関西支部同窓会は例年晴天に恵まれます
が、この日も快晴の秋空、窓越しに見え
る比叡山とインクラインの紅葉の美しさ
は格別でした。

開会礼拝では水野源三作詞、川口耕平
作曲の歌曲集「こんな美しい朝に」より、
原田かおりさんのピアノ、当日の幹事柴
田美和子さんが神への賛美を歌われ、豊
かな礼拝の時を持ちました。岡野学院長
からフェリス女学院の現状と将来へのビ
ジョンをお話いただき、同窓生として母
校へ思いを寄せて、今回関西支部から維
持献金をお捧げしました。

会食後に岡野院長からご専門のアウグ
スティヌスと音楽についてお話しいただ
きました。学院から地理的に離れている
関西在住の同窓生にとっては滅多にない
こと、ご専門のお話を楽しくお聴きする
ことができ、又の機会を願いました。

京都、大阪、神戸と巡つて開催してい
ます同窓会関西支部は例年11月の第2水
曜日を定例の総会としています。200
9年度は11月11日(水)、大阪で開催の予
定です。近隣他府県の同窓生の皆様のご
参加をお待ちしています。

関西支部長 清水操

西南支部

主に感謝して。

西南支部は白菊会、りてら、りべるて、F
グループとそれぞれ当番幹事をして戴き、お
蔭様で毎年、合同の同窓会・総会を開催して
おります。

昨年は、大学より岡野昌雄学院長先生を始め落合敦彦美学科准教授、本部事務局より秋山和子様をお招きして、9月17日に「ホテル日航福岡」で開く事が出来ました。

礼拝を守り、総会を終え、落合先生の楽しいお話を交え、中でも即興メドレーは、その溢れる音楽に堪能させて戴きました。

岡野学院長先生より学院の現状やその思い、又楽しいお話を忘れ、秋山様のお話に更に学院の事が分かつた次第です。

又、昨年よりFグループを中心ハンドベルの仲間を作り、その演奏も披露させて頂きました。その後、校歌を合唱し閉幕となりました。出席者は51名と大勢で、喜んで戴きました。

今年度は、10月17日(土)に宮坂覺学長先生、秋山和子様にご来福をお願い出来ました。

九州の方は勿論、それ以外の同窓生の方もご参加戴ければ、嬉しく思います。御一報をお待ちしております。

西南支部長 伊藤和子
(音楽科24期卒)

白菊会より

大学同窓会のみなさま、お元気にお活躍のことと存じます。いつも中高の卒業生の集まりであるフェリス白菊会をお気にかけてくださいと感謝しております。

一つの同窓会として、フェリスファミリーの集うクリスマス礼拝を毎年守つておりますが、ほかになかなか一緒にあります。フェリス白菊会ではさまざまサークル活動での交流などを通して各同窓会員の触れ合いを増していくたらと願っています。フェリス白菊会ではさまざまなサークル活動をしておりますが、そのうちの一つ、岡野昌雄学院長のお話によるギリシア哲学の会を紹介いたします。

2007年に始まりました。ギリシア悲劇の紹介が入口で、岡野学院長の熱い語り口に引き込まれました。オイディップス王、オレスティア、メディアなどを読みながら解説と脱線も少々。詩や聖書の話も織り込みながらの講義でした。そのあと、「國家」をじっくり読みながらプラトンの哲学をほんの少しかじらせていたきました。この5月から哲学史の講義が始まっています。

毎月第三火曜日の一時半から、白菊会同窓会室で開講しています。ご希望の方は白菊会までお申し込みください。日ごろの生活ではなかなか触れる機会のないギリシアの哲学を学生に戻つて勉強してみるのはいかがでしょうか。お待ちしております。

白菊会会長 服部ひろ子



●同窓会は外国にもあります

●ニューヨーク事務所

Mrs. Rakuko Kuwayama
136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A.
TEL 212-675-3840

●ハワイ事務所

Mrs. Chizu Hatakeyama
3043 Hollinger St. Honolulu, HI.
96815-4211 U.S.A.
TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579

●カリフォルニア事務所

Mrs. Junko Yokota
3117 Mabury Rd. San Jose, CA. 95127 U.S.A.
TEL 408-923-4632 FAX 408-729-5669

2008年度 フェリス女学院同窓会連絡会 会計報告
(2008年4月1日～2009年3月31日) (単位 円)

前年度繰越金	922,204
全同窓会維持費 (70,000×4)	280,000
利 息	1,371
小 計	281,371
合 計	1,203,575
各支部(東京、西南、関西)へ祝儀〔含、郵送料〕	60,550
クリスマス礼拝関連費	87,215
備品購入	0
合 計	147,765
翌年度繰越金	1,055,810

翌年度繰越金は、1,055,810円です。

以上、ご報告申し上げます。

2009年5月10日 会計 白菊会 西谷 洋子

学生課だより

大学学生課では、自宅外通学（ひとり暮らし）の学生を応援しようと、「ひとり暮らし応援プロジェクト」を開催しています。大学に入りたての新入生に友人を作つてもらいたいと考え始めた「ふるさと一千人プロジェクト」（学外オリエンテーション内開催）や、山手キャンパス周辺を中心とした「横浜散策」、ひとり暮らしや女性向けの防犯講話と一緒に学ぶ「護身術講座」など様々な企画を年に数回実施しています。

中でも学生から好評な企画が料理教室であります。短期大学の卒業生である大森いく子先生や矢野知子先生に講師をお願いし、山手キャンパスの家政科記念館で行つた際には、りべるての皆様に多大なるご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

参加学生に感想を聞いたところ、料理の楽しさはもちろん、フェリスの先輩方から学生時代のお話を聞くことがとても嬉しいようです。

こういった、学生が同窓会の皆様とお会いし、フェリスの歴史を学ぶことのできる貴重な機会がフェリスの絆を強めるきっかけになつてほしいと願っています。

●フェリス女学院同窓会主催 クリスマス礼拝のご案内

《日 時》

2009年12月12日(土)

午前 11時～12時

《場 所》

山手フェリスホール

《説教者》

アメリカ改革派教会・
日本キリスト教団協力牧師

キスト岡崎さゆ里先生

皆様、どうぞご参加下さい。

クリスマス礼拝(2008年) 献金先

献金総額	130,112円
日本ユニセフ協会	32,528円
日本キリスト教海外医療協力会	32,528円
難民を助ける会	32,528円
社会福祉法人日本医療伝道会	32,528円

オリジナル切手発行のお知らせ

大学では本年三月、オリジナル切手を発行しました。これは記念切手ではなく大学広報の一環として発行したもので、このような形の切手発行は、大学では全国初と思われます。

二〇〇八年度の卒業式、二〇〇九年度の入学式に販売を開始しましたが、好評で予定していた五〇〇シートは完売状況でした。このたび、大学で通常用に確保してあるものを同窓会にお分けすることになりました。

カイパー記念講堂のステンドグラスをはじめ、フェリスホールのパイプオルガン、緑園キャンパスのチャペル、チャペルのステンドグラス、特徴ある雪洞（照明）を持つ図書館の図柄など六種類を織り込んだ大変美しいものです。

久しく手紙を書くことから遠ざかっている方も多いと思われます。大切な友人知人

へのメッセージをこの切手に乗せて送つてみるのもいいかもしれません。

来年、学院は創立二四〇年を迎えます。

その記念事業の先駆の意味を持つものです。この切手を眺めつつ、フェリスの深い歴史と伝統をあらためて感じることができます。

そしてフェリス女学院大学の卒業生であることを誇りに思うことができれば幸いです。

お問い合わせは、各同窓会事務室まで。
(会員価格一シート、○○○円)



サークル紹介

ギリシア哲学の会

場日指
岡野昌雄先生
第三火曜日一時半～二時
連絡先所
光高同窓会室
○四五(八九三)一〇一

聖書を学ぶ会

場日指
岡野昌雄先生
第三火曜日一時半～二時
連絡先所
光高同窓会室
○四五(八九三)一〇一

英語読書会

連場日指
吉野洋子先生
第三水曜日十時半～十二時
連絡先所
大島和子
○三(三四一〇)七三三〇

書道サークル

連場日指
初心者の方でも気軽に入会できます。
第四木曜日一時半～四時
連絡先所
大学(山手)六号館別館二階
望月幸子(56E)
○三(三七二七)九一八五

デイジーグリークラブ

連場日指
田中順先生
第二回水曜日一時半～三時
連絡先所
中高同窓会室
鈴木道子(51)
○四五(九三四)七六〇三



永眠者(お届けのあつた方)

野口雄一郎先生
一〇〇四・二・九

古川英先生
一〇〇八・十二・四

青山三郎先生
一〇〇八・九・二

西沢幸彦先生
一〇〇八・十二・二十八

中村初穂先生
一〇〇九・一・二十一

三浦洋一先生
一〇〇九・一・二十八

前理事江口元子先生
一〇〇九・五・十一

りべるて
豊村志津子姉(40)
田中賀代子姉(40)

神野征子姉(44)
山田恵子姉(44)

向後愛子姉(44)
Fグループ

田代陽子姉(23)
植木薰姉(57M)

佐合尚美姉(36M)
菅野明子姉(5M)

浅野美紀子姉(8M)
りてら

西川みや子姉(54E)
齋藤知子姉(77J)

土田紀子姉(76E)
和田真知子姉(76J)

松井智子姉(93J)
久山直子姉(93S)

大杉輝代姉(51E)
西島直子姉(55E)

天来の慰めをお祈りいたします。



フェリス女学院創立百四十周年記念

フェリス女学院は、2010年に創立

140周年を迎えます。

2010年12月18日(土)パシフィコ横浜国立大ホールに於て、記念礼拝を予定しております。

ひとりでも多くのご出席をお待ちしております。

詳細は、来年の会報でお知らせします。

大学祭 FERRIS FESTIVAL 2009

●トーマ:Ferris Cruise ～Have a nice trip～

開催日時：10月31日(土)・11月1日(日)

《両日》礼拝10:00～
開場11:00～20:00終了

開催場所：緑園キャンパス

編集後記

大学全学部同窓会合同の会報によって、いろいろなつながりが出来ることをとても嬉しく思います。会報を通じ、ともに喜びあえる時間を作さんで持ちましょう。ご意見ご感想をお待ちしています。

フェリス女学院大学同窓会会報

二〇〇九年八月発行
担当：家政科同窓会りべるて
りてら
Fグループ
○四五(六六二)〇七五〇
○四五(八一二)八六九二〇
○四五(六八一)六七四〇